

刊夕 日四十月九



石城郡農産物共同受検組合 優良生産者表彰式 優良生産者三十二名を表彰した

石城郡市の現在米

五萬八千八百一五石

昨年より八六三八石を増加
此ま、一ヶ月半の食米

平市及び石城郡下に於ける九月一日の現在米は左記の如く
平市の合計一萬七千八百二十斗
で前回(八月)の現在高より千三百八十九石九斗を減じ前年同期に比すれば二千八百三十三石四斗の増えた郡の集計では四萬八千六百六斗で八月の現在に比較し一萬三千三百九十九石三斗を減じたが前年同期より五千八百五十六斗を増加して是れ此の合計五萬八千八百一十五石八斗は昨年の同期に比べ八千六百三十八石を増加して是れ郡の人口三萬二千六百六名と郡の人口二萬四千三百七十四名の合計廿七萬五千八百八十人の一ヶ月の食米は一人平均一日三合と見て二萬四千五百六十四石であるから現在米のまゝでも約二ヶ月半の消費にはこと欠かぬこととなる。

磐陽野球大會

選手追悼試合

磐陽野球大會第十三回合戦は来十七日と廿四日の兩日、磐陽中球場で開催されるが同會では今次事變で名譽の戦死を遂げた平クラブの遊撃手星野嘉久治、古河炭礦主將石田勝利投手の追悼の爲め兩勇士の寫

勿來驛の送炭激増

日産七百噸昨年より三割増

石城郡南の勿來町及び川部村方面に於ける大日本炭礦外十八の中小炭礦は需氣の増産に労働者の不足をこころなからも昨年比すれば大きな増産で本年一月以降八月末日までの勿來驛積み出しは十六

植田町煙草收納

所の新築工事

石城郡の煙草納付は本年の本格的栽培に好成績を収め明年更に増産を計畫されてゐるが植田町に置く郡南部の收納所を元寶所と共に小學校西側に建設を決し去る十日地鎮祭を行った。

井上翁頌徳碑

除幕式延期

元平消防組頭故井上茂作氏の頌徳除幕式は十五日故人の道交厚かつた大日本消防協會長松井茂博士を迎へて舉行の筈であつたが適々縣議選舉

市の銃後奉公會

へ片倉で三百圓

平市の片倉製鐵系會社では

支那單語

馬車のことをマーチエ
アオチエ、荷馬車は
大車子でターチエ、
人力車を洋車と稱へて
ヤンチエ、自転車を
脚踏車と書いてチアオ
ターチエと呼んでゐる

差違に傳賃馬

石城郡三坂村の差違藁谷満房氏所有の馬鹿馬才は傳賃の疑似症で警留中であつたが三森技手の十三日に於ける最後の検査で眞症に決定直ちに殺處分の手續きをなす

發生減少

石城郡馬組合では三森技手による第二回の傳賃馬巡回検査を終つたが發生頭數六頭で昨年同期の十三頭に比し半數以下の管理成績である第三回の検査は十五日から大休十一月末までに發生がなければ冬の潜伏を越えて明春發生を見ることになるのであるが前記終期に至る約二ヶ月は飼養管理に相當の警戒を要するときである

平の不在投票

平市の立町町師藤藤日吉(七)さんは毎年今期の仕事として弓矢の材料仕入れの爲め一ヶ月餘を北海道方面へ旅行するので清き一票の義務を果たすに去る二十日午後三時市役所不在投票を行ひ當夜の急行で出發した

泉村役場竣工

石城郡泉村では小學校の北側に村役場を新築中であつたが殆んど完成近く本月末に落成式を舉行の豫定である、新廳舎は建坪七十八坪の二階付で工費六千九百圓、敷地は百八十坪である

第一校運動會

平第一小學校では来る二十七日同校庭に於て秋季運動會を催す

米、小麦、菜種

優良生産者

聯合會から表彰
石城郡農産物共同受検組合聯合會では去る二十日三年度の優良生産者三十二名を表彰したが受賞者左記の如し
▲米生産十八名 泉馬六郎 渡邊岡部豊次 玉川高 萩秀次郎 好間木田安次郎 平鈴木一久 小川猪狩武壽 飯野鈴木一男 草野高田光 夏井酒井二郎 高久鈴 木庄之助 神谷木村忠七 大浦根本忠平 大野西山重 同草野忠衛 勿來安島 清藏 錦永井助次郎 植田 富岡嘉久 山田秋山乙次 ▲小麦生産十名 磐崎皆川 彌三郎 大浦古市良平 植田赤津初市 錦天野昇 川部野田利敏次 勿來藤田源 右工門 山田蛭田林 赤井 若松健吉 草野飯島政雄 泉佐藤忠實 ▲菜種生産四名 平吉野佐 平太 草野富岡要 大浦岡 田丑松 錦金成源次 高久 箱崎榮應(以上)

戦地の便り

潰走の敗敵に迫る

息もつかせぬ追撃
追撃に移り晝夜の別なき行軍に次ぐ行軍、山を越え谷を河を渡りて精魂つき果てんとする己れを鞭打ち々々敵の最大據點〇陽を攻略せる日城内を修々行進して城外に出づるや城を取り圍む清流に暫しの休憩をとつた時の氣持ちは得も云はれなかつた

政見演説會

小野候補の

今日舌戦の皮切り
石城政友郡の公認候補小野平氏は今日十四日から二十四日まで左記日數日劇場所に政見演説會を催すが会場は何れも小學校午後六時からである

石城農産共同受

検大麥品評成績

石城郡農産物共同受検組合聯合會主催の大麥品評會は既報の如く三百二俵の出品を嚴密の結果二十日左記入賞者を褒賞した

小學生の球技戦

石城郡植田町方に於ける小

品評會大麥の共

販値六圓三十錢

別頭石城農産共同受検組合聯合會の大麥品評會出品は十二日の褒賞當日共販に付され左記相場で全部取引さる

新與タイヤベン付

ウエル萬年筆

一、五〇以上
商工省主催「代用品工業振興展覽會」出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重な鑑査に合格したる新與國製

同職上忠馬 神谷木村賢 ▲三等勿來中野林松外十五名 ▲四等小川吉田滿雄外三十一名

品評會大麥の共 販値六圓三十錢

別頭石城農産共同受検組合聯合會の大麥品評會出品は十二日の褒賞當日共販に付され左記相場で全部取引さる

▲標準品三等建値一俵六圓三十錢(等外六圓十錢、二等六圓四十六錢、一等六圓五十六錢)以上

新與タイヤベン付 ウエル萬年筆 一、五〇以上 商工省主催「代用品工業振興展覽會」出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重な鑑査に合格したる新與國製

代理店 文魁文堂 電話三一三

◎昭和十四年後期用 小學生三年後期用

優良大全科 模範 優等生 大全科學習書 各科の研究 受驗生大全科 小國民年鑑 木山、フリの 知識の寶庫 十五錢參考書 日用辭典 各種 受驗參考書

後期の參考書は 種類の揃つてゐる 各種の御選び 下さす

四丁目 マルトモ書店

秋の味覚の王

松茸に就て

今年松茸の産出量は、東京市場の出廻り

そこで目下東都の市場には前に述べたる通り信州産のものを中心として山梨及び岩手並びに朝鮮産のものが入荷してゐるのであるが信州からのものは順調なる出廻りであつて八月中旬に於ける百七十圓乃至七、八十圓の相場であつたものは其の後出荷が漸く増加するにつれて四十圓から五十圓乃至二十圓と軟化し同じく山梨産、岩手産のものもは三十圓より四十圓がらみと云ふことになり先き行きも多少相場の高低はありと見られるも漸次相當の値下りは免れまいと語られてゐる、また盛期、晩期は全般的に不作であらうと云ふことなので其のために豊作地の岐阜と静岡産のものも獨り相場と云ふことにならぬのでないかと唱へられてゐる、

東京市場が語る荷造りへの注意、松茸の荷造りに對して築地中央青果會社の企畫課では第一に選別を充分にすること、例へば極く蕾のもの、蕾、中開き、全開きものなどを詳しく分けること、第二には内容量の表示を忘れぬこと、第三は産地詰めにおいては目切を豫想して約五分程度の増量をはかる、第四は雨や霧にあつてたまり荷造りすると輸送中に腐敗するから充分注意して欲しい、第五は市場の時間を細心に注意し前場の販賣に間に合ふ様出荷されたい、後場と前場では同品でも相當の値開きが出るものである(完り)

国民精神總動員
日本國民必見の誌……
内閣情報部發行
寫眞週報
1部10セ
お取次致して居ります
平二 西村屋藥局 社三

平市五町目角 山野邊藥局

幸福の父
健康の母たらんには
召し給へー
機那サフラン酒は
子寶を得て見し。

定價 二角五分

平市五町目角 山野邊藥局

大小の御宴會に……
御家族の御同伴其他の
御集ひに御座敷……

味覺實質 衛生萬點の **マルトキ食堂**
平市四丁目電話一三三番

内科、小兒科、平市田町 電話五二三番
外科、花柳病科、**高久病院**
耳鼻咽喉科、院長 醫學士 高久忠
レントゲン科

類品洋とンバカ

電話五九二番 眞砂屋 (平市新通驛前) (電話五六五)

電話五九二番
に變りました
喫茶、酒場を兼ねた。
レストラン サロ
平市銀座街

便利で 經濟な **日下家政婦會**の
派遣婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから
何を任せしても安心です。
平市白銀町十番地 (電話七二三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派遣なき閉眼に裁縫や)を御誘ひ致します(綿物をお教授致します)

專 門 皮膚科、泌尿器科、性病科、性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 **江尻伊三郎**
平市田町電話六九二番
院醫尻江

和洋銅器、金物問屋
店南屋堂
平市南町

根本 婦人科醫院
平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
(入院隨時)
電話 三四番
一般印物もお引受致します
新しいわき新聞社